

今年も『秋の味覚』庄内柿を

よろしくお願い致します！



避難準備情報や避難勧告が相次いで出される大雨に何度か見舞われ、何十年ぶりという強い台風 21 号も近くを通りましたが、心配した大きな被害もなく通り過ぎてくれたようです。

そんな中、今年の庄内柿は比較的順調に生育し収穫の時を向かえられそうです。着果数も多く柿の実の肥大も例年に劣らず進んでいるようです。

今年は<柿の減農薬栽培>を始めてちょうど 30 年目を迎えます。除草剤を使わない分、年 4 回の草刈り作業を行い、落葉病などの病気対策は殺菌剤を 5 回、虫対策は 3 月、6 月、8 月の 3 回殺虫剤を散布、6 月には摘蕾作業、日当たりや風通しを良くするために夏の間も樹園地を見回り摘果や剪定をします。落葉病に悩まされた初期の頃、周辺の栽培者からのいろいろな非難を受けながらも今まで柿の栽培を続けてこれたのは『おいしいよ』と言ってくださる皆様のおかげと思っています。使用可能な農薬が極端に少なくなり、栽培上の苦労も増えていますが、これからも安全でおいしい柿を目指した栽培を続けていきたいと思っています。

また来年からは、我が家の後継者を目指し奮闘中の若手生産者が柿の栽培を担当することになり、減農薬の栽培技術（土づくり、剪定のやり方、管理の方法、農薬の知識）について現在猛勉強中です。私ともども御指導の程よろしくお願ひいたします。

今年も庄内柿をよろしくお願ひいたします。

2018年9月7日

農事組合法人 庄内協同ファーム
柿生産者 柿部会長 志藤 正一



【柿生産者】 阿部 芳賀 志藤

栽培方法

化学肥料：不使用 化学合成農薬：5割以上削減